

スズキ、インドネシアで四輪車累計生産 300 万台を達成



チカラン工場にて行われた記念式典

スズキ株式会社のインドネシアにおける四輪・二輪生産子会社スズキ・インドモーター・モーター社（以下、SIM）は、12月6日に四輪車累計生産300万台を達成し、1月16日にチカラン工場で記念式典を行いました。

SIMは1976年3月にプロガドゥン工場で四輪車の生産を開始しました。1991年タンブン工場、2015年にはチカラン工場で生産を開始し、現在はキャリイ、XL7などを生産しています。

今回、46年9ヵ月で四輪車累計生産台数300万台を達成しました。300万台目の車両はチカラン工場生産された「エルティガ ハイブリッド」でした。

SIMでは、四輪車に加え、タンブン工場で二輪車の生産も行っています。

SIMの瀬崎社長は記念式典のなかで、「スズキは、我々の社是、『お客様の立場になって価値ある製品を作ろう』に沿い、インドネシアおよび輸出先のお客様にご満足いただけるような商品をこれからも提供してまいります。今回の累計300万台到達にあたりご支援いただいた関係者の皆様、どうぞ引き続きご協力をお願い申し上げます。」と述べました。

今後もスズキは、お客様に必要とされるモビリティの提供を通じて、インドネシアの自動車産業の発展に貢献していきます。

■ スズキ・インドモーター社の概要

社名	PT Suzuki Indomobil Motor (スズキ 94.9%出資)
本社・工場所在地	本社:プロガドゥン 工場:タンブン、チカラン
従業員数	約 4,000 名 (2022 年 11 月末)
四輪車生産実績(2021 年度)	13.4 万台(タンブン工場:7.8 万台、チカラン工場:5.6 万台)
現在の四輪車生産モデル	タンブン工場:キャリイ、APV チカラン工場:エルティガ、XL7

■ スズキ・インドモーター社の歴史

- ・ 1970 年 タンブン工場にて二輪生産開始
- ・ 1976 年 プロガドゥン工場にて四輪生産開始
- ・ 1991 年 タンブン工場にて四輪生産開始
- ・ 2004 年 多目的車「APV」生産開始
- ・ 2012 年 3 列シートの 7 人乗り小型乗用車「エルティガ」生産開始
- ・ 2015 年 チカラン工場にて四輪生産開始